2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上場会社名　三精テクノロジーズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6357　URL https://www.sansei-technologies.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 板垣　治
問合せ先責任者　(役職名) 常務執行役員　管理本部長　(氏名) 渡邉　文人　TEL 06-6393-5621

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月2日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	37,393	16.9	2,125	4.7	2,269	4.4	1,304	9.0
2026年3月期中間期	31,981	16.9	2,029	326.6	2,173	192.7	1,197	294.2

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　1,966百万円　(△3.4%)　2026年3月期中間期　2,035百万円　(△25.8%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	73.12	72.35
2026年3月期中間期	65.50	64.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	98,759	51,532	51.9	2,887.77
2026年3月期	97,237	51,562	52.7	2,821.00

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　51,291百万円　2026年3月期　51,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	30.00	―	60.00	90.00
2027年3月期	―	47.50			
2027年3月期(予想)			―	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	5.4	7,700	17.2	7,800	14.8	5,300	3.9	291.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	19,332,057 株	2026年3月期	19,332,057 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,570,546 株	2026年3月期	1,152,841 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	17,847,024 株	2026年3月期中間期	18,286,482 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11
３．補足情報 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。個人消費は物価上昇の影響を受けつつも持ち直しの動きがみられ、設備投資も省力化やデジタル化に向けた投資を中心に底堅く推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の上昇やエネルギー・原材料価格の高止まり、金利の上昇などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社事業においては、遊戯機械では国内外の受注が好調に推移し、工事も順調に進捗したことに加え、補修部品の需要も堅調に推移したほか、舞台設備では常設の舞台機構の工事が順調に進捗したことやコンサートやイベント向けの仮設舞台装置の需要も引き続き高水準で推移しました。

この結果、売上高は37,393百万円（前年同期比16.9％増）、営業利益は2,125百万円（前年同期比4.7％増）、経常利益は2,269百万円（前年同期比4.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,304百万円（前年同期比9.0％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。
（売上高はセグメント間の内部売上を含んでおりません。）

遊戯機械

国内外で工事が順調に進捗したことに加え、補修部品の需要も引き続き堅調に推移したことから、セグメント売上高は25,087百万円（前年同期比17.2％増）となりましたが、資材価格の上昇に加え、販売費及び一般管理費も増加したことから、セグメント利益は1,029百万円（同23.1％減）となりました。

舞台設備

常設の舞台機構において公共施設向けの新設・改修工事が順調に進捗したことに加え、コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要も引き続き高水準で推移したことから、セグメント売上高は9,131百万円（前年同期比23.3％増）、セグメント利益は1,628百万円（同43.0％増）となりました。

昇降機

公共施設や集合住宅用の改修工事に加え、保守・メンテナンス事業も引き続き堅調に推移したことから、セグメント売上高は3,133百万円（前年同期比0.5％増）、セグメント利益は503百万円（同0.2％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

資産は、前連結会計年度末に比べ1,521百万円増加し、98,759百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,441百万円、無形固定資産が678百万円減少した一方で、有形固定資産が2,390百万円、投資有価証券が561百万円、原材料及び貯蔵品が518百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が405百万円増加したこと等によります。

（負債の部）

負債は、前連結会計年度末に比べ1,552百万円増加し、47,227百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1,095百万円、買掛金が123百万円減少した一方で、契約負債が2,553百万円、借入金が合計で269百万円増加したこと等によります。

（純資産の部）

純資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、51,532百万円となりました。これは主に、自己株式の取得等により自己株式が957百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が384百万円、為替換算調整勘定が345百万円、利益剰余金が214百万円増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況につきましては当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,441百万円減少し、25,767百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,038百万円の収入（前年同期は3,767百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益2,269百万円、減価償却費814百万円、のれん償却額507百万円、契約負債の増加2,440百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,905百万円、棚卸資産の増加602百万円、その他の資産の増加508百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,745百万円の支出（前年同期は1,047百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2,794百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,937百万円の支出（前年同期は1,520百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額798百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額1,089百万円、自己株式の取得による支出999百万円、長期借入金の返済による支出601百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現時点において2026年５月13日に公表した数値を見直しておりません。今後の業績の推移により、見直しの必要性が生じた場合には、すみやかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,243,012	25,801,133
受取手形、売掛金及び契約資産	23,956,050	24,361,755
電子記録債権	293,312	251,423
仕掛品	2,314,267	2,487,334
原材料及び貯蔵品	5,137,239	5,656,192
その他	2,254,149	2,900,195
貸倒引当金	△1,065,634	△1,094,289
流動資産合計	61,132,398	60,363,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,976,419	7,269,694
土地	4,486,085	4,494,103
その他（純額）	5,265,147	7,354,656
有形固定資産合計	16,727,652	19,118,454
無形固定資産		
のれん	6,983,351	6,511,418
その他	1,205,698	999,065
無形固定資産合計	8,189,050	7,510,484
投資その他の資産		
投資有価証券	8,790,661	9,352,445
その他	3,101,822	3,143,283
貸倒引当金	△703,967	△728,879
投資その他の資産合計	11,188,515	11,766,850
固定資産合計	36,105,217	38,395,789
資産合計	97,237,616	98,759,535

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,616,430	5,492,724
短期借入金	3,969,659	4,822,836
1年内返済予定の長期借入金	1,195,662	1,302,987
未払法人税等	1,869,672	773,919
未払消費税等	390,659	151,327
契約負債	12,019,503	14,573,396
賞与引当金	696,877	653,494
役員賞与引当金	15,166	3,640
工事損失引当金	888,785	719,051
その他	4,029,784	4,247,817
流動負債合計	30,692,201	32,741,195
固定負債		
長期借入金	10,393,493	9,702,987
繰延税金負債	1,928,939	2,106,954
退職給付に係る負債	2,182,143	2,222,440
その他	478,221	453,737
固定負債合計	14,982,798	14,486,119
負債合計	45,675,000	47,227,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,484,088	2,535,141
利益剰余金	33,561,934	33,776,076
自己株式	△1,060,013	△2,017,740
株主資本合計	38,237,288	37,544,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,974,894	4,359,717
繰延ヘッジ損益	1,810	803
為替換算調整勘定	8,963,615	9,309,318
退職給付に係る調整累計額	105,990	76,591
その他の包括利益累計額合計	13,046,311	13,746,430
新株予約権	140,903	140,903
非支配株主持分	138,112	100,127
純資産合計	51,562,615	51,532,219
負債純資産合計	97,237,616	98,759,535

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	31,981,649	37,393,770
売上原価	22,834,925	27,337,943
売上総利益	9,146,723	10,055,826
販売費及び一般管理費	7,117,552	7,930,824
営業利益	2,029,171	2,125,002
営業外収益		
受取利息	164,524	124,729
受取配当金	123,280	115,389
保険配当金	12,360	20,721
為替差益	－	3,224
その他	38,146	49,688
営業外収益合計	338,311	313,752
営業外費用		
支払利息	164,136	165,336
支払手数料	2,716	1,966
為替差損	21,068	－
その他	5,700	2,037
営業外費用合計	193,621	169,340
経常利益	2,173,861	2,269,414
特別利益		
固定資産売却益	23,816	1,422
特別利益合計	23,816	1,422
特別損失		
固定資産廃棄損	61,441	1,573
特別損失合計	61,441	1,573
税金等調整前中間純利益	2,136,235	2,269,263
法人税等	952,239	999,247
中間純利益	1,183,996	1,270,016
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△13,684	△34,878
親会社株主に帰属する中間純利益	1,197,681	1,304,895

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,183,996	1,270,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	636,878	384,822
繰延ヘッジ損益	△27,126	△1,007
為替換算調整勘定	283,066	342,307
退職給付に係る調整額	△41,086	△29,398
その他の包括利益合計	851,731	696,723
中間包括利益	2,035,728	1,966,740
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,058,418	2,004,725
非支配株主に係る中間包括利益	△22,690	△37,984

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,136,235	2,269,263
減価償却費	729,470	814,698
のれん償却額	528,797	507,587
賞与引当金の増減額（△は減少）	△41,253	△43,383
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,600	△11,526
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△45,260	△173,213
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△42,822	△2,621
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,748	48,239
受取利息及び受取配当金	△287,805	△240,119
支払利息	164,136	165,336
固定資産売却損益（△は益）	△23,816	△1,422
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,585,173	△314,044
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,310,539	△602,748
仕入債務の増減額（△は減少）	△734,746	△157,176
契約負債の増減額（△は減少）	1,954,201	2,440,870
未払消費税等の増減額（△は減少）	△190,060	△239,331
未収消費税等の増減額（△は増加）	93,501	△198,099
その他の資産の増減額（△は増加）	△79,888	△508,269
その他の負債の増減額（△は減少）	521,763	25,636
その他	85,234	56,306
小計	5,040,469	3,835,982
利息及び配当金の受取額	295,906	242,035
利息の支払額	△164,188	△133,603
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,405,049	△1,905,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,767,138	2,038,527

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,048,149	△2,794,627
有形固定資産の売却による収入	23,816	2,679
無形固定資産の取得による支出	△73,017	△20,108
貸付けによる支出	△1,500	△2,200
貸付金の回収による収入	3,314	66,508
その他	47,810	2,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,047,725	△2,745,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	470,632	798,157
長期借入金の返済による支出	△590,506	△601,493
リース債務の返済による支出	△40,795	△43,850
ストックオプションの行使による収入	31	－
自己株式の取得による支出	△800,125	△999,829
子会社の自己株式の取得による支出	－	△1,198
配当金の支払額	△559,823	△1,089,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,520,586	△1,937,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	109,770	203,104
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,308,596	△2,441,878
現金及び現金同等物の期首残高	21,813,365	28,209,804
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,121,961	25,767,926

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（原価差異の繰延処理）

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産又は流動負債として繰延べております。

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,400,100	7,404,314	3,117,807	31,922,221	59,427	31,981,649	－	31,981,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	360	360	△360	－
計	21,400,100	7,404,314	3,117,807	31,922,221	59,787	31,982,009	△360	31,981,649
セグメント利益又は損失(△)	1,338,136	1,138,982	504,700	2,981,820	23,891	3,005,711	△976,540	2,029,171

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,087,727	9,131,335	3,133,884	37,352,947	40,822	37,393,770	－	37,393,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	360	360	△360	－
計	25,087,727	9,131,335	3,133,884	37,352,947	41,182	37,394,130	△360	37,393,770
セグメント利益又は損失(△)	1,029,326	1,628,874	503,918	3,162,119	△311	3,161,807	△1,036,805	2,125,002

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

２．セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

受注状況

受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
遊戯機械	29,996,335	+20.3	73,698,495	+7.1
舞台設備	10,411,233	+14.4	18,329,860	+7.5
昇降機	4,296,428	△5.1	4,135,291	+39.1
合計	44,703,997	+15.9	96,163,646	+8.3

（注）セグメント間取引については、相殺消去しております。